

農地中間管理機構関連農地整備事業【宇摩地区】

うま

事業の概要

○目的

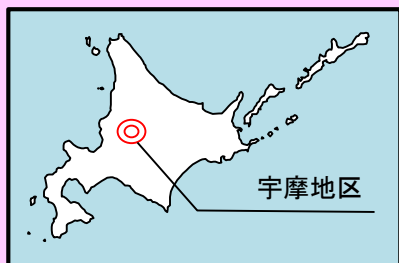
本地区は、雨竜川及び支流河川に沿って両側を山に挟まれた比較的狭隘な地域に位置する水田地帯である。農地の大半が不整形で狭小な小区画であり、用水路の老朽化も著しいことから、効率的で安定した農業経営の確立に支障を来している。

このため、本事業による大区画化等の基盤整備を実施することにより、用水の安定供給及び維持管理の省力化、収量増加及び労働時間の短縮を図るとともに、担い手への農地集積・集約化をさらに促進することで、効率的で安定的な競争力ある農業の実現を目指す。

○概要

- ・事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業
- ・地区名 宇摩地区
- ・関係市町村 北海道深川市
- ・事業工期 令和1～6年度
- ・受益面積 55.9ha
- ・総事業費 1,074百万円
- ・主要工事 区画整理 55.9ha
- ・関係市町村 北海道深川市

【位置図】



- 農地の大区画化・汎用化を契機に、担い手への農地集積・集約化をさらに促進し、農作業の省力化・低コスト化により農業競争力の強化を図る。

基盤整備の内容や整備による効果

□ : 区画整理実施箇所

本地区における平均区画

現況 40a 91m × 44m
計画 120a 132m × 91m

複数枚のほ場を1枚のほ場へ大区画化し、面積集積の促進を図る。

事業実施前



事業実施後



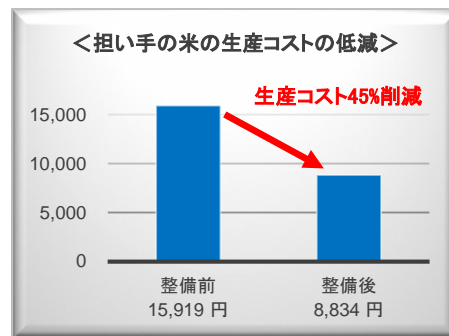
28.1% UP!!

	戸数(戸)	経営面積(ha)	集積率
関係農家数	15	14.3	71.9
うち担い手	9	17.5	%

	戸数(戸)	経営面積(ha)	集積率
関係農家数	4	61.7	100
うち担い手	4	61.7	%

地区での取組や整備による効果

- 大区画化により生産コストの低減を図り、それによる余剰労働力の活用し、高収益作物の新規導入や、地域の農産物の新たな商品開発により、農業経営のさらなる安定化を目指す。



(株)深川振興公社 アグリ工房まあぶ HPより



多度志そば工房 HPより